

●総 評●

今年もまた、小学校低学年を中心に力作が数多く寄せられました。

今年の特徴を一言でいえば、より主体的に自由研究に取り組む姿勢が目立ってきたということでしょう。研究の動機に見られる、自然や生き物への豊かな愛情や、研究テーマを広く社会的にとら

えようとする意欲など、どれもその研究が、自分なりの疑問から出発していると感じさせるのに十分なもののばかりです。

自分自身の興味や疑問からスタートした、自分にはできない研究ともいうべきものが、今後も数多く寄せられることを期待します。

文部大臣奨励賞受賞作品

かにのかんさつ

千葉県市原市立国分寺台小学校

3年 柳池 剛



▲カニのすんでいる干潟へ行ってのすみかの観察から、家で調べた脱皮の様子など、1年間かけた力作です。特に巣穴の形を石膏で調べるなど、自分なりの工夫が生きています。

●かんさつのわけ 2年生の秋、ようろう川かこうを歩いていたら、カニをみつけた。カニのしゅるい

やどんなところにすんでいて、どんな生かつをしているかしらべたいと思った。とくに、2年から3年生とつづけて、アシハラガニ、チゴガニをちゅうしんにかんさつした。

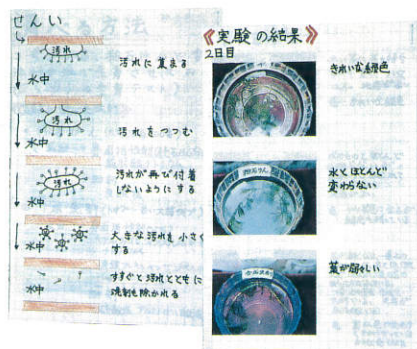
●しらべたこと ①カニのすみかをしらべる ②カニのすのあなのかたちをしらべる ③すなだんごのかんさつからわかったこと ④カニのだっぴのしかた ⑤足とつめのはえてくるようすをしらべる ⑥カニのいろいろなうごきをしらべる ⑦まとめとらい年やりたいこと

●カニのすのあなの形はどうなっているか カニはすの中にどんな形のあなをあけてすんでいるだろうか。(中略)せっこうをながして、かたまってから、あなの形をしらべた。

●まとめ 東京わんにながれこむ、ようろう川の近くのひがたには、11しゅるいいいじょうのカニがすんでいることをしりびっくりした。(中略)カニのすは、めいろみたいでできからみを守るためにくふうしているんだなと思った。カニのくらしが少し分かった。

ONE POINT アドバイス

▶「粉石けんと合成洗剤の安全性」
愛知教育大学附属岡崎小学校
四年 松本 祐樹



合成洗剤の生物への影響を粉石けんなどと対比しながら調べた研究です。水草を、合成洗剤の入った水、粉石けんの入った水、何も入っていない水の中でそれぞれ育て、育ち方の違いを調べるというユニークな方法が試みられています。

ただ、調べたことに対する考察が不十分なようです。結果に対し、その理由を調べる実験などを工夫すれば、より厚みのある研究となるでしょう。